

# サクラマス幼魚回遊生態調査

静 一徳

## 目 的

サクラマスの放流条件、資源変動要因検討のため、北上期のサクラマス幼魚の回遊生態を把握する。

## 材料と方法

2018年3月～6月に関根浜にて小型定置網により混獲されたサクラマス幼魚を、漁業者の協力で日付別に採集した(図1)。採集した幼魚は-20℃で冷凍保存した。冷凍サンプルは内水面研究所へ搬送し、解凍後、魚種判別と、日付別の尾数を確認した。なお操業はしたがサクラマス幼魚の入網は0尾であった場合のデータ(0データ)は取得していない。また3月から定置網に水温ロガーを設置し、日平均表層水温を計測した。



図1. サクラマス幼魚調査地点

## 結果と考察

採捕数は合計59尾であった。サクラマス幼魚の入網があった日の入網数は1尾～7尾であった。

5月15日に最大の7尾が入網し、表層水温は11.7℃であった。6月2日に最後の入網があり、表層水温は13.2℃であった。過去の調査でも、表層水温13℃前後を境にサクラマス幼魚の入網が無くなること<sup>1)</sup>が確認されており、関根浜地区におけるサクラマス幼魚の北上回遊と表層水温との間に密接な関係があることが示唆された。

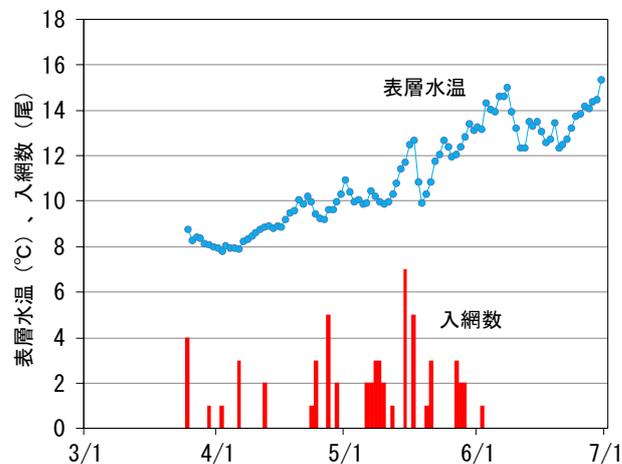


図2. サクラマス幼魚旬別採捕数

## 謝 辞

調査にご協力いただいた関根浜漁業協同組合の高橋専務に御礼申し上げます。

## 文 献

1) 静一徳(2021)サクラマス幼魚回遊生態調査. 平成29年度青森県産業技術センター内水面研究所事業報告, 35.